



作・あまん きみこ

# ちいちゃんの

文部省選定

厚生省中央児童福祉審議会推薦

# かげおくり



「十、数える間、かげぼうしを  
じっと見つめるのさ。  
十、と言ったら、空を見上げる。  
すると、かげぼうしがそつ  
くり空にうつって見える」

製作：光村図書出版株式会社 / 株式会社サン・エデュケーショナル

DVD / 17 分

ライブラリー価格：34,000 円（本体価格）+ 税



株 式 会 社

教

配

〒190-0012 東京都立川市曙町 2-36-2 ファーレ立川センタースクエア

TEL 042-518-9774(代) FAX 042-518-9785

# ちいちゃんのかげおくり

出征する前の日、お父さんは、ちいちゃん、お兄ちゃん、お母さんをつれて先祖のお墓参りにいきました。

その帰り道、青い空を見上げたお父さんは、「かげおくり」という遊びをちいちゃんに教えてくれました。

「十、数える間、かげぼうしをじっと見つめるのさ。十、と言ったら、空を見上げる。すると、かげぼうしがそっくり空にうつって見えるよ。」とお父さんが説明しました。

4人で手をつなぎ、みんなでかげぼうしに目を落としました。

「とお。」白い四つのかげぼうしが、すうっと空にあがりました。

「すごい。」「今日の記念写真だなぁ。」

次の日、お父さんは戦争にいきました。

ちいちゃんとお兄ちゃんのかげおくりをして遊ぶようになりましたが、やがて戦争が激しくなると広い空は、楽しい所ではなく、とてもこわい所になりました。

夏のある夜、空しゅうで足にケガをしたお兄ちゃんをおんぶしたお母さんと、ちいちゃんははぐれてしまいました。

「お母ちゃん、お母ちゃん。」ちいちゃんはさげびました。

ひとりぼっちになったちいちゃんは、こわれかかった暗い防空ごうの中でねむりました。

「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」

明るい光が顔に当たって、目がさめたちいちゃんに「かげおくりのよくできそうな空だなぁ。」というお父さんの声が、青い空から聞こえてきました。「ね、今みんなでやってみましょうよ。」お母さんの声も聞こえました。

ちいちゃんは、ふらふらする足をふみしめて立ち上がると、たった一つのかげぼうしを見つめながら、数えだしました。

いつの間にかお父さん、お母さん、お兄ちゃんの声が重なって聞こえだしました。「とお。」ちいちゃんが空を見上げると青い空にくつきり白いかげが4つ。「お父ちゃん」ちいちゃんはよびました。

「お母ちゃん、お兄ちゃん。」その時、体がすうっとすきとおって、空にすいこまれていくのが分かりました。

ちいちゃんは、空色の花畑の中にたっていました。

「きつとここ、空の上よ。」その時、向こうからお父さんとお母さんとお兄ちゃんが笑いながら歩いてくるのが見えました。

「なっんだ。みんなこんな所にいたから、来なかったのね。」

ちいちゃんはきらきら笑いながら花畑の中を走り出しました。

こうして、小さな女の子の命が空に消えました。